

ロボットは東大に入れるか

国立情報研究所の新井紀子さんは、2011年に「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトを立ち上げ、ロボットづくりに専念しました。しかし、偏差値60までのロボットをつくることはできても、東大に入れるロボットをつくることはできませんでした。

新井さんはその理由について、一つ目として、ロボットの読解力には限界があることに触れ、数千万というインプットされた情報から答えを導き出すことはできても、自らの頭で自分の経験と照らし合わせながら感情豊かに文章などを読み解くことができないと指摘しています。そして、二つ目として、ロボットには人の気持ちを推し量る優しさや思いやりがないということに触れています。これは私たちにもなんとなく理解できますよね。

2030年代、今ある仕事の60%がなくなると言われています。人間のかわりにロボットが迅速かつ効率よく仕事をこなしていく、そんな時代がもう目の前に来ているのかもしれませんが、仕事の中には読解力の必要な仕事があります。人の気持ちを推量しなくてはならない仕事もあります。きっと、そのような仕事はいつの時代でも私たちの生活の中に必要なものでしょう。

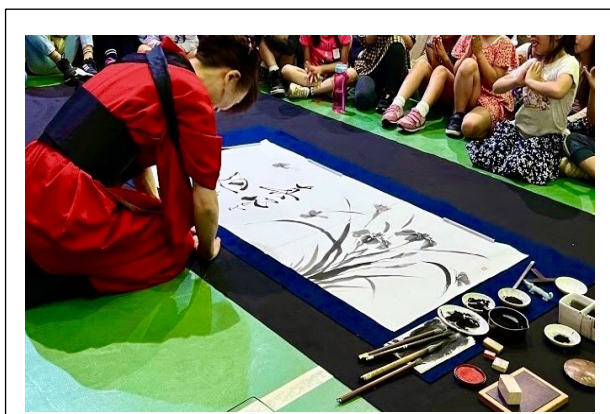
そう考えると、これから皆さんがつけなければならない力と心は、もしかしたら「読解力」と「思いやり」になるかもしれませんね。

補習授業校は、年間40日しか登校する日がありませんが、一日一日を大切に過ごせば、「読解力」と「思いやり」が必ず身に付く、そんな学校だと思っています。

学級委員の会主催

書道家 ルーカス明美先生(紅秋)によるパフォーマンス

6月11日(土)アクトン校舎体育館にて、世界でご活躍中の書道家ルーカス明美(紅秋)先生の、書道と墨絵の実演会が行われました。会場にはたくさんの生徒と家族が集まり感動を共有しました。手元カメラを使ったデモンストレーションでは墨絵の特徴と様々なテクニックを解説して頂きました。また、紅秋先生の波動からインスパイアされ作曲された『紅秋』というハープの楽曲がBGMとして流れる中、「真心を込める」という子供たちへのメッセージと美しい菖蒲の墨絵を、会場にいた一人一人の思いを受け即興で書いてくださいました。作品は講堂にて期間限定で展示される予定です。臨場感溢れる素晴らしい作品をぜひ間近でご覧になってください。(担当より)



☆☆☆☆ 注意しましょう！ ☆☆☆☆

自分だけでなく、相手も傷つけてしまいますよ。

休み時間、早く外に出て遊びたいという気持ちからだと思いますが、校舎内の階段や廊下を走って出て行く光景をよく目にします。もしその勢いでぶつかったら、大ケガをしてしまいます。ぜひ、注意をお願いします。



来週（6/25）の安全係当番

小6A



- *安全係の方は、倉庫前（駐車場側）に8：50に集合してください。
- *小5Bの皆さま、本日、よろしくお願いいたします。

☆☆☆ 古本搬入について ☆☆☆

いつもたくさんの寄付をありがとうございます。今週末は古本の搬入日です。皆様の寄付は例年通り体育館にて受け付けますが、コロナ感染対策を踏まえて下記の通り皆様のご協力をお願いします。

□寄付は9時半から10時半の間に体育館にお持ちください。体育館には外側からお入りください。

□搬入作業中になるべく密を避けるため、児童書、書籍およびギフト用品は区別してお持ちいただき、それぞれ指定の場所に置いてください。

□下記の物品につきましてはお持込はご遠慮下さい。お持ち込み頂いても受け取れませんのでご注意ください。

- 子供に相応しくない成人向けなどの本、漫画、雑誌、DVD等
- 状態の悪い本
- 2年以上前のガイドブックや雑誌（月刊誌・週刊誌）
- 教科書や非売品のドリル（漢字スキル etc）
- 衣類、家庭電化製品、危険物（刃物、引火性液体、可燃性・有害物質等）、液体物、医薬品、
- ビデオテープ、カセットテープ

*補習校のゴミ廃棄場所スペースには限りがございます。不要なゴミがでないよう皆様のご協力お願い致します。

□搬入日10時半以降の寄付のお持ち込み、または搬入日以外の寄付のお持ち込みは受け取りいたしかねます。ご理解ください。

□搬入日寄付の持ち込みのために保護者の方にコロナテスト（ホームテスト）を実施いただく必要はございません。またマスクの着用は任意となります。

古本セール 担当より

<図書館からのお願い>

図書を返却する際に、コンピューターで返却手続きをせず、本棚に戻す生徒がいます。この場合、本を返却していても、コンピューター上では「貸し出し中」になっています。催促状が届いたり、新しい本を借りられなくなったりしますので、本返却の際には、必ず「かえす」サインのあるコンピューターで手続きをしてから、本を本棚に戻してください。よろしくお願いいたします。